

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2020年8月号 VOL128.

2020年8月7日(金)(公財)全国里親会

◆全国里親会◆

イベント中止のお知らせ

新型コロナの影響で、予定のイベントなどが中止となっています。8月29日、30日に愛知県で開催予定の「里母の集い」が中止に。また、12月12日13日の福岡市で開催予定の「里母の集い」も中止に。

10月3日4日開催予定だった「第65回全国里親大会徳島大会」も中止になりました。(厚生労働大臣表彰)・感謝状授与・全国里親会会長表彰は、10月26日の会長会議&研修会のセレモニーにて対応します。なお、東海北陸ブロック大会は延期でしたが中止となりました。

ご寄付の衛生用品などの配布について

元SMAPの稲垣吾郎氏、草なぎ剛氏、香取慎吾氏によるユニット「新しい地図」と日本財団様の共同で立ち上げた「LOVE POCKET FUND」(愛のポケット基金)から、新型コロナ対策として全国里親会に19,740,000円のご寄付を頂きました(前号でお知らせ済み)。

この寄付金は、里親家庭内での感染予防、里親家庭で陽性患者が出た場合の感染拡大防止、また、親が新型コロナウイルスで養育が困難となった子どもの受け入れ対応などを目的として、里親家庭への衛生用品(消毒用アルコール、非接触型体温計、防護服等)配布やオンライン環境の整備に使用されます。

すでにタブレット端末130台については地域の里親会事務局64か所に2台ずつ、全国里親会事務局に2台配送されました。

衛生用品についてはマスク、マスクS、マスク小児用、防護服エプロン、衛生手袋、手指消毒剤、非接触型体温計200個(8月納入)、非接触型体温計60個(11月納入)を配布予定です。

それぞれ準備ができ次第発送していきます。

会長会議&研修会の開催

10月は里親月間。昨年の台風、そして今年は新型コロナによる大会開催中止と、2年にわたって大会を開催できないでいます。そうしたなか、「令和2年度第1回会長会議&研修会」を開催します。

日程は10月26日(月)~27日(火)。開催場所は衆議院議員会館第一議員会館大会議室(東京都千代田区永田町1-7-1)。コロナウイルス感染対策対応として会場以外にオンラインでの参加も可能です。

全体テーマは『子どものための新しい社会的養育ビジョンと里親会の在り方』。対象者は里親会正副会長、里親会事務局、役員、児童相談所職員など。

具体的な内容は、26日がセレモニー・厚生労働大臣表彰ならびに感謝状、全国里親会会長表彰、感謝状の授与に始まり、その後、会長会議、会長研修と続きます。研修では「里親と税理のまなび」「児童福祉法改正と今日の里親支援」について取り上げます。

27日には厚生労働省子ども家庭局長の渡邊由美子氏による行政説明。続いて前厚生労働副大臣の高階恵美子氏による基調講演。その後「里親養育と子どもの権利」と題して里親、里子、学識経験者などによるシンポジウムが行われます。

詳しくは全国里親会のホームページやチラシなどでご案内します。なお、内容については予告なく変更する場合があります。

◆厚生労働省◆

自治体推進計画の提出状況

新型コロナの影響もあって、都道府県の社会的養育推進計画の話題が宙に浮いた格好になっています。厚生労働省のとりまとめ(6月15日現在)によると、70自治体のうち66自治体から提出がありました。千葉県、千葉市、鳥取県、横浜市が台風被害や新型コロナで未提出。

提出のあった都道府県(市)の目標をみると、国の示した5年目(2024年度末)3歳未満の里親委託率75%をクリアしているのは7自治体(福島県、岡山県、大分県、川崎市、相模原市、京都市、福岡市)。また国の示した7年目(2026年度末)3歳以上就学前の里親委託率75%についても、上記の7自治体となりました。国が示した10年目(2029年度末)学童期50%以上については、14自治体が目標をクリアしています(宮城県、茨城県、群馬県、新潟県、山梨県、滋賀県、岡山県、高知県、川崎市、相模原市、静岡市、京都市、福岡市、明石市)。

多くの自治体が、国の示した目標値を大きく下回っています。ちなみに国の示した数値から大きく乖離しているのは、3歳未満については東京都(14.1%)、大阪市(25.5%)、広島県(29.0%)。3歳以上就学前では、長崎県(37.4%)、兵庫県(37.9%)、東京都(38.2%)と続きます。と言っても未回答の自治体が38自治体あります。学童期以降で乖離の大きいのは、神奈川県(24.6%)で30%台の自治体が23あります。

厚生労働省は、個別に自治体を呼んで国の目標に近づけていくよう助言していくとしています。